

短歌・俳句 交流のひろば

発行 前橋市永明公民館

〒379-2121 前橋市小屋原町1857-3
 電話 266-5775

永明短歌クラブ

雑草は日ごと伸びゆき木のせたけ空地の景色は森のごとくに

森田 健子

コロナ禍に戦く日々の続きたり気づけば暦は立秋となる

長梅雨に湿気の部屋のカレンダー八月となり青空まぶし

高橋 紀代子

パン置きて庭の餌付けに朝夕と雀飛び交ふ共存の様を

庭の辺に秋明菊の咲き初むる健気にも見ゆる猛暑の中に

岡本 トモ子

コロナ禍と猛暑の日々に辟易すスーパーへ行くも気合を入れて

高齢となりて試さる認知症の検査にのぞむ真夏の午後

中島 陽子

酷暑日は涼しき店にて歩こうと足の痛みの和らぎねがひて

秋めきて朝の向日葵見つむる「ありがとう・・・」種びつしり

岡田 美江子

すぐ行けぬ予約必要博物館しほれそうな世しきり新た

梅雨明けて庭の夏草生ひ茂りむしれど草は次々に生ふ

山口 博子

この夏はメモを片手にマスク着け買物へ行くもそこくに帰る

「素焼人間」

撮影／フォト永明（剣持 誠）



「かぼちゃくん」

撮影／フォト永明（剣持 誠）



短歌個人投稿作品

五人の子 老いた夫婦で集い来て 父の白寿にぎやかに過ぐ
孫と一緒に色水遊びをするために おしろい花は庭先で待つ
猛暑日に 群馬の秘境村巡り 小さな旅で 涼しさ満喫

上長磯町 湯沢悦子
上大島町 吉田美枝子
荒口町(上大島町出身) 舘野忠次郎

俳句個人投稿作品

身の丈の 暮らし楽しき 露のとう

東上野町 女屋みつ江

永明絵手紙の会



釈迦十大弟子 文殊菩薩の柵

作/杉村 みどり